



令和2年11月10日(火) 岐阜県発表資料			
担当課	担当	担当者	電話番号
農業技術センター	所長	長谷部 健一	電話 058-239-3131 FAX 058-239-3139
中山間農業研究所	所長	鍵谷 俊樹	電話 0577-73-2029 FAX 0577-73-2751
農政課	課長	田口 博史	内線 2810 直通 058-272-1901 FAX 058-278-2680

岐阜県オリジナル品種の開発について

〔 製粉性に優れた米粉用品種 「こなゆきひめ」
新たな花色の鉢花用品種 「『ミライ』シリーズ」 〕

県農業の活性化と競争力向上のために、農業系研究機関では、他産地との差別化が可能な県オリジナル品種の開発に取り組んでいます。このたび、農業技術センターが米粉用水稲品種を、中山間農業研究所が鉢花用品種を開発しましたので、ご報告します。（品種登録出願日：令和2年3月23日、出願公表日：令和2年6月29日）

記

1 米粉用品種「こなゆきひめ」の概要

(1) 特長

- ・岐阜県初の米粉専用品種。
- ・「ハツシモ」に比べてデンプン損傷度が低い。デンプン損傷度の値が低いほどパンや菓子などの加工時のふくらみが良いとされている。
- ・加工業者からは、米粉臭が少なく、加工に利用する素材本来の風味を活かされると評価されており、てんぷら粉や菓子などの加工品の開発・販売が始まっている。

(2) 今後の活用

- ・岐阜県産の米粉を使ったグルテンフリー商品の開発が可能である。
- ・県内の食品事業者において商品開発に取り組まれており、将来的には10ha程度の作付けを目指している。









開発された商品

2 鉢花用品種「ミライ」シリーズの概要

(1) 特長

- ・国内で初めてのアキギリの鉢花用品種。
アキギリは、シソ科サルビア属の日本に自生する山野草で、鉢花商品の市場流通はない。
- ・「ミライブルー」は白地に薄紫がカスリ状に入る清楚な花色、「ミライパープル」と「ミライピンク」は紫と白、桃色と白のコントラストが美しいバイカラー。
- ・花の種類が少ない秋に開花し、耐寒性に優れ、中山間地の露地でも越冬し、管理も容易。

			
品種名	ミライブルー	ミライパープル	ミライピンク
花色	白地に薄紫のカスリ 	バイカラー（紫と白） 	バイカラー（桃と白） 
開花期	9月下旬～2週間程度	10月中旬～2週間程度	10月中旬～2週間程度

(2) 今後の活用

- ・令和3年1月に栽培研究会を立ち上げ、令和3年秋の市場出荷を見込んでいる。
- ・数年後には3品種で年間3万鉢以上、将来的には花壇苗としての販売も合わせて年間15万鉢程度の生産を目指す。